

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 都市計画局建築指導部監察課

1. 債権名(債権区分)

行政代執行に要した費用	区分: 公債権(強制徴収できる)
-------------	------------------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	4,095 千円	27目標	4,095 千円	27実績	186 千円
28目標	0 千円	29目標	- 千円		

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績	—	27目標	—	27実績	—	28目標	—	29目標	—
	整理率	26実績	—	27目標	—	27実績	—	28目標	—	29目標	—
過年度	徴収率	26実績	0.0%	27目標	0.0%	27実績	95.5%	28目標	100.0%	29目標	—
	整理率	26実績	0.0%	27目標	0.0%	27実績	95.5%	28目標	100.0%	29目標	—

4. 27年度決算での未収金残高の状況

	合計	1 件	186 千円	1 人
(件数、金額、債務者数(実人数))	27年度賦課分	1 件	千円	
	26年度以前賦課分	1 件	186 千円	
回収債権	計	1 件	186 千円	
①処分したもののうち、換価前のもの		1 件	千円	
②分納誓約・徴収猶予		1 件	千円	
③交渉中		1 件	186 千円	
整理債権	計	0 件	0 千円	
④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの		1 件	千円	
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの		1 件	千円	
⑥時効年限を経過したもの		1 件	千円	
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの		1 件	千円	
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの		1 件	千円	
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの		1 件	千円	
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの		1 件	千円	

5. 27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
A		A

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
—	—

課題	改善策
—	—

○過年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
引続き債務者に納付を求めていく。また、差押に向けた資産の調査について、さらに行うとともに、当該土地の代位登記を行い、差押を行う。	債務者の保有財産について、判明したものは、すべて差押を完了し、平成27年9月以降4回に分け換価でき、平成28年3月末時点で、行政代執行費用の約95%が回収できた。

課題	改善策
債務者より残りの代執行費用について、全額自主納付の申出があったため、債務者と連絡をとりながら費用回収を進めていく。	自主納付が実施されない場合は、強制徴収等により全額回収を行う。

6. 28年度の取組内容 (5.「27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

○現年度分口 —
○過年度分 引き続き債務者に納付を求めていくとともに、関係先とも協議調整しながら、今年度中の全額回収をめざす。

(参考)27年度実績及び28年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

—

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 都市計画局建築指導部監察課

1. 債権名(債権区分)

簡易代執行に要した費用	区分: 公債権(強制徴収できない)
-------------	-------------------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	357 千円	27目標	357 千円	27実績	357 千円
28目標	357 千円	29目標	357 千円		

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績	—	27目標	—	27実績	—	28目標	—	29目標	—
	整理率	26実績	—	27目標	—	27実績	—	28目標	—	29目標	—
過年度	徴収率	26実績	0.0%	27目標	0.0%	27実績	0.0%	28目標	0.0%	29目標	0.0%
	整理率	26実績	0.0%	27目標	0.0%	27実績	0.0%	28目標	0.0%	29目標	0.0%

4. 27年度決算での未収金残高の状況

	合計	1 件	357 千円	1 人
(件数、金額、債務者数(実人数))	27年度賦課分	1 件	千円	
	26年度以前賦課分	1 件	357 千円	
回収債権	計	0 件	0 千円	
①処分したもののうち、換価前のもの		1 件	千円	
②分納誓約・徴収猶予		1 件	千円	
③交渉中		1 件	千円	
整理債権	計	1 件	357 千円	
④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの		1 件	千円	
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの		1 件	千円	
⑥時効年限を経過したもの		1 件	千円	
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの		1 件	千円	
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの		1 件	千円	
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの		1 件	千円	
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの		1 件	357 千円	

5. 27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
—	—

課題	改善策
—	—

○過年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
不在者財産管理人制度等により、債権を回収する。	不在者財産管理人制度等による債権の回収について、回収見込みなどの検討を行った。

課題	改善策
本未収金は、所有者不明の老朽危険家屋に対する代執行費用の未納金であり、債権を請求する相手方が不明であるため、徴収の見込みは現在のところ無い。 当該物件地は立地条件などに問題があり、財産処分の可能性が極めて低い。	引き続き、不在者財産管理人制度等による債権の回収について、検討を行う。

6. 28年度の取組内容（5.「27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること）

○現年度分 —
○過年度分 不在者財産管理人制度等による債権の回収について、検討を行う。

(参考)27年度実績及び28年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

—